

福住メンタルクリニック

開設から10年、患者さまと向き合った医療を実践しています



福住駅前 地域の身近なクリニック

福住メンタルクリニックは、平成20年7月、さっぽろ香雪病院のサテライトクリニックとして開設しました。利便性の高い

地下鉄東豊線福住駅から徒歩2分の立地にあり、今年で開設10周年を迎えました。近年、社会不安障害、発達障害、学校や職場のメンタルヘルス、また退職後や老年期のうつ病や認知症など、身近なところで精神保健に関する話題を耳にすることが増えました。多様な精神疾患・症状の早期発見・早期治療を目指し、地域社会へ貢献してまいりました。

診療は2診体制。できるだけ待ち時間をなくすように基本予約制となっております。一人ひとり患者さまの診察にじっくり時間をかけています。女性医師がいるので女性特有の症状や悩みの相談についても丁寧に対応しています。また、毎週水曜日は19時まで夜間診療を行っているため、仕事帰りの方が利

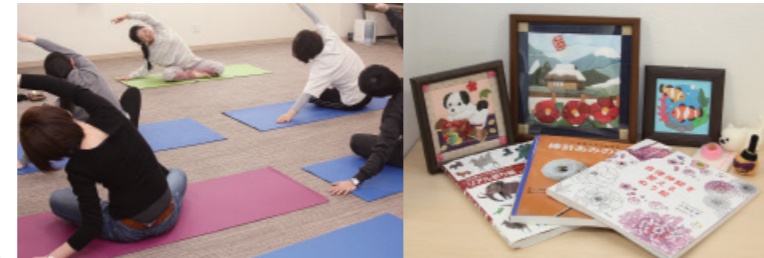
用することも増えていきます。当クリニックに来院する患者さまは、10代の学生から90代のご高齢の方まで幅広く、不眠、統合失調症、うつ病などの気分障害、認知症など様々な精神症状をお持ちの方が来院され、多様な個々の症状に対する相談や治療を行っています。CT・MRI等を使った精査が必要な方、入院治療が必要と思われる方、さらにクリニック時間外の救急時には、本院であるさっぽろ香雪病院でフォローし、継続的に治療を行います。当クリニックと本院では、電子カルテ等で診療情報を共有するバックアップ体制を整えています。医師・看護師をはじめ、カウ



ンセリングや心理検査を行う臨床心理士、インテーク面接や生活支援の相談に対応する精神保健福祉士、事務員らがチームを組んで、万全な治療環境で、皆さまのお役に立つ身近なクリニックを目指しています。

デイケア「クルール」

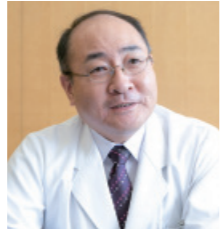
クリニックでは平成24年11月から精神科デイケアを併設しています。デイケア「クルール」では、日中活動や仲間づくりのお手伝い、精神的不調により仕事を休職した方の復職や再就職の支援を行っています。それぞれの利用者やグループメンバーに合わせて、スポーツ(ヨガ・ストレッチ・球技等)、タッキング、グループセラピー、パソコン操作トレーニング、社会見学等の多彩なプロ



グラムを楽しみながら行っています。活動を続ける中で、生活リズムを整えながら気力や体力をつけていき、社会生活への意識を高めていきます。主治医が他の病院・クリニックであつても利用ができませんので、お気軽にご相談ください。地域の皆さまが自分の症状のように、専門職スタッフが全力でサポートをいたします。

開設10年を新体制で

福住メンタルクリニックは、平成30年7月1日より、さっぽろ香雪病院で診療部長として携わっていた宇佐見誠医師が新たに院長として就任致しました。



宇佐見院長挨拶

宇佐見院長と菊地医師の2診体制でこれまで以上に細やかな診療を行ってまいります。新たな10年の節目を新体制で迎え、今後も受診しやすいクリニックを目指します。地域の関係機関とも十分協力し合いながら、安心して暮らせる地域医療の一端を担うために真摯に努めてまいります。

大学病院、総合病院、精神科病院での勤務を経て、平成30年7月に福住メンタルクリニック院長に就任しました。これまでの臨床経験を活かし、患者さま一人ひとりのニーズに沿った、的確できめ細かい診療を心がけていこうと思

います。また、入院を要する状態を呈した際には、本院(さっぽろ香雪病院)と連携しつつ、迅速に対応いたします。どうぞお気軽にご来院下さい。

QCサークル活動とは?

さっぽろ香雪病院 QC活動委員会 平田 沙緒里 副委員長



5月24日に「QCサークル活動とは?」という題目で、さっぽろ香雪病院QC活動委員会 平田沙緒里副委員長からQCサークル活動についての研修会が行われました。QCとはQuality Controlの略で、元々はトヨタ自動車などの製造業が品質管理のためにはじめた取り組みですが、その後、他業種にも広まったという歴史があります。

今回の研修会は、QCサークル活動を知らない職員や、改めて学びたい職員を対象に活動の導入部分についての説明が行われました。研修の中では、QC全体の流れや活動方法、データの取り方、問題の見つけ出し方などの説明がありました。活動を行うことで、不良品やミスの減少

を目指すと同時に、不具合の原因を見つけ、問題の解決方法を知ることができます。また、皆で取り組むことで職場の活性化に繋がり、個人能力の向上や他部署の業務をより深く知る機会となります。研修の最後には、昨年の院内大会の様子と優勝サークルのその後の取り組みについて報告がありました。

今年で13年目の活動となる当院では、毎年11月の院内事例発表会に向け、約半年間QCサークル活動に取り組めます。この研修会を通じて、改めてQCサークル活動の進め方や活動を行うことの意義について再確認することが出来たと思います。また、普段行っている業務を改めて見直すきっかけにもなり、仕事を「ハヤク、タダシク、ラクニ、ヤスク」出来る方法を知る良い機会になると感じました。